

教科(科目)	数学 I	単位数(時数)	3 単位(111)	学年(科)	1 学年(情報科学科)
使用教科書	・数研出版「高等学校 数学 I」				
副教材等	・数研出版「4STEP 数学 I + A」 ・数研出版「チャート式 解法と演習 数学 I + A」				

1. 学習目標

「数と式」「図形と計量」「2次関数」「データの分析」について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2. 指導の重点

- ① 計算力を高めるために、授業で配布する「計算練習プリント」に繰り返し取り組む。
- ② 「日々課題・週末課題」に取り組むことで基本問題から応用問題まで幅広く演習する。

3. 評価規準と評価方法

評価規準

○関心・意欲・態度

数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。

○見方や考え方

数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り考えを深めている。

○表現・処理

事象を数量、図形などで数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付けている。

○数量、図形などについての知識・理解

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。

評価方法

小テストと定期考査の成績、授業態度、提出物の内容及び提出状況から総合的に評価する。

4. 学習アドバイス

- ① 日頃から自分で考え、手を動かして計算する習慣をつける。また安易に解答に頼ることなく、まずは自分で考えることも大切である。
- ② 4STEP、チャート式をくり返し解くことで基本を定着させる。
- ③ 基本がきちんと身につけている者は、チャート式のEXERCISESや、配布されるハイレベルプリントに積極的に取り組み高いレベルの応用力を身につけて欲しい。

(担当：森山 勇也)

月	単元・考査等	時数	主要学習領域	学習活動（指導内容）
4	I 第1章 【数と式】	8 5 4	式の計算 実数 1次不等式	・整式 ・整式の加法と減法と乗法 ・因数分解 ・実数の分類 ・根号を含む式の計算 ・1次不等式 ・1次不等式の利用
5	GW課題考査 I 第2章 【2次関数】	6 15 6	2次関数とグラフ 2次関数の値の変化 2次方程式と2次不等式	・関数とグラフ ・2次関数のグラフ ・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定 ・2次方程式 ・グラフと2次方程式
6	I 第1章 【数と式】 前期中間考査	8 10 10	集合と命題	・グラフと2次不等式 ・課題研究 ・集合 ・命題と条件 ・命題と証明
8	夏課題考査 I 第4章 【データの分析】	7	データの分析	・データの代表値 ・データの散らばりと四分位範囲 ・分散と標準偏差 ・データの相関
9	前期期末考査			
10	I 第3章 【図形と計量】	10 10 8	三角比 三角形への応用	・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・課題研究 ・正弦定理 ・余弦定理
11	(A 整数の性質) (II 指数関数・ 対数関数)	4 (13) (11)		・正弦, 余弦定理の応用 ・三角形の面積
12	後期中間考査			

計 111 時間 (48 分授業)